

発行:(公財)日本フィルハーモニー交響楽団 〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1 TEL 03-5378-6311 FAX 03-5378-6161

## 5年目の被災地 もう一度「忘れてはいけない」と、心に刻みましょ 私たちは「被災地に音楽を」送ります

あの3・11から4年が過ぎました。そして日本フィル「被災地に音楽を」の活動は、5月1日から5年目に入りました。私たち日本フィルはこの4年間の活動を通じて、「音楽」が人と人、人と場所を結びつける重要なコミュニケーション・ツールだということを改めて実感しています。震災直後、授業さえままならない混乱の中、生徒と顧問の先生の熱意で吹奏楽部が再興し、現在では吹奏楽コンクールの全国大会で連続して上位入賞を果たしている、福島県南相馬市立原町第一中学校吹奏楽部に、クリニックで訪問しました。春休み恒例の南相馬は4回目。昨年11月杉並区の「荻窪音楽祭」で、杉並区の中学生と日本フィル楽員と共演し、感動的な演奏を繰り広げた原町第一中学校(以下、原一中)吹奏楽部へのクリニックと、近接の原町第二小学校(以下、原二小)でのコンサート・クリニックに行きました。



**4月30日**、まずは金管五重奏メンバーが先乗りし、福島駅からバスで沿岸部の相馬市に向かいます。途中の飯館村は、まだ夜間は立ち入り禁止で汚染土を詰めた青や黒のビニール袋が山影のあちこちに山積になっています。

**5月1日**は金管五重奏メンバーの原二小でのコンサートとクリニックです。メンバーはトランペット橋本洋、松木亜希(賛助)、ホルン原川翔太郎、トロンボーン岸良開城、チューバ岩井英二(賛助)。卒業生の半数が原一中に進学し、金管楽器の合奏部もある原二小は全校児童が180人。校長先生のお話しによると、震災以降児童数は半減、外気に触れる時間を少しでも減らそうと、登下校は親が車で送り迎えするケースも多い、とのこと。1年生~6年生の児童(全員が制服姿!)は、「ディズニーソング・メドレー」等を楽しみました。その後、ホルン・トロンボーン・チューバの児童に対しクリニックを行ないました。

**5月2日**からは、原一中でのクリニックです。この日からオーボエ松岡裕雅、フルート鈴木章浩(賛助)、クラリネット石井一成(賛助)、ファゴット鈴木一志、サクソ坂東邦宣(賛助)、ユーフォonium黒沢ひろみ(賛助)、コントラバス黒江浩幸(賛助)、打楽器三橋敦も合流し、総勢13名は過去最多の講師陣です。特にコントラバスとサクソは今回が初めての講師参加で、4回目にして原一中吹奏楽部の全パートが一度にクリニックを受けました。

午前中は原二小の児童も参加し、基礎練習が中心。午後はコンクールの課題曲のパート練習と合同合奏。更には金管五重奏メンバーによるアンサンブル鑑賞と、盛り沢山の一日です。楽器初心者で今年4月にクラブに入部したばかりの新人に、卒業したら、原一中でクラブに入ることを期待されている原二小生も混じり、基礎練習は時間をかけて行われました。午後は、全日本吹奏楽コンクールの課題曲のパート練習と、顧問の阿部先生指揮による合奏練習です。合奏練習では講師も演奏にも参加し、パートに限らず、合奏全体に対する指示が飛び交い、緊張感溢れる中、メキメキと合奏のレベルが上がっていきます。

そして、今日のクリニックの最後は、金管五重奏メンバーによるアンサンブルを鑑賞し、生徒たちは講師の吹くソロの音色を食い入るように聴き入っていました。

**5月3日**の最終日は、コンクール自由曲のパート練習が中心です。初心者の新入生が吹くにはかなりの難曲ですが、集中力を保つよう、講師が気を配りながら効率の良いクリニックが行われました。この日の合奏練習(写真右)も熱気に溢れ、阿部先生と講師の指示で少しずつ縦の線が合ってきました。阿部先生も手応えを感じている様子です。

時間はあっという間に過ぎ、練習後、各パートのリーダーから、担当講師に向けた感謝の言葉が贈られました。感激のあまり声を詰まらせる生徒もあり、とても温かい空気が流れていました。

全員で記念撮影をし、最後に木管五重奏メンバーによるアンサンブルが演奏され、生徒たちは楽器毎に特色ある音色をかみしめていました。名残惜しくも講師の乗ったバスを、生徒全員が見えなくなるまで手を振って送ってくれました。

かつては60人の部員を誇った原一中吹奏楽部、震災直後20人にまで激減しましたが、今年の新入生含め40人にまでになりました。阿部先生の「講師の先生方のアンサンブルを聴いて、楽器本来の持つ音色を再認識しました。その音色を目標に頑張りたい。」の言葉も印象的でした。生徒たちがこの地で目標を持って生きていくことが、何より大切であることを再認識し、「今後も継続して行きたい」との思いを新たにしました。

尚、今回の訪問では、原一中吹奏楽部生のお母様3名が、ボランティアで講師の世話をしてくださいました。またNPO法人自然環境応援団の上條大輔さんが現地での移動等のコーディネートしてくださり、株式会社三菱UFJニコスがサポートしてくださいました。



## 街は丸ごと工事中! ~ 5月と6月に岩手県山田町、宮古市に行きました

岩手県への訪問は下閉伊郡山田町。盛岡まで2時間、宮古経由で3時間。遠いです!小さな街は丸ごと工事中という雰囲気、沿岸はかさあげ工事、高台は住宅地の造成地工事がすすんでいました。**5月29日**は高台にある山田高校でカルテットの演奏。震災当日、避難所となった学校です。吹奏楽部の打楽器アンサンブルが歓迎の演奏をしてくれました。生徒たちは震災当時小学校高学年。たくさん経験をしてきました。先生も含めて熱心に聴いていました。

**翌5月30日**の午前中は山田町北小学校の体育館で学童保育の子供達のコンサート。町内の5カ所から120人くらいの子供がバスでやってきました。元気な子供たちで、ヴァイオリンの新人佐藤駿一郎の楽器のお話に「オー」の歓声。コンサート後はヴァイオリン体験も。やりたい人多数でしたが、じゃんけんで10人が選抜。仮設住宅から通う子どもも多数、両親を亡くした子どもも学童の仲間と元気に遊んでいると指導員から話をききました。



午後は、介護事業所「眺望」でコンサート。眺望というだけに、施設からの山田湾の眺めは最高。牡蠣とホタテの殻がたくさん浮かんでいます。まさに三陸の海の風景です。

開演前に近くの子供クラブの子供たちがやってきてお年寄りたちと風船ゲームをしました。コンサートは「北国の春」の大合唱、好評です。最後は、ヴァイオリン体験、最初は遠慮がちのみなさんも一旦手にすると、とても気持ちが集中します。嬉しそうな表情が印象的です。

### ヴァイオリン体験はどこでも好評です

3日**5月31日**の午前中はデイサービスの施設。周りは造成地で見事になにもないところ。朝からタクシーで駆けつける方や、近所の仮設住宅からみんなで歩いて来る人など50名。とても明るくて元気な老人たち。日本の童謡メドレーを口づさんでいる方も。もちろん「北国の春」は熱唱。ここでも若い佐藤さんの楽器のお話は芽えていました。ヴァイオリン体験で、一気に会場は盛り上がりました。



最後は「いっぱいぼ」というNPOが運営する集会所。狭い会場に50人が詰めかけました。演奏はチェロ以外は立奏、メンバーの皆さんの協力で頭が下がります。

3日間のコンサートをコーディネートしてくださった方はもともと三重県伊勢市の職員。震災後、職を捨ててボランティアで山田町に駆けつけたという情熱家でした。今、仮設住宅に住んで町役場で復興推進課の仕事をしています。3日間、目の前の演奏を聴いて、子供や高齢者の反応を目の当たりにして「いい仕事してますね」と興奮していました。用地の買い上げ、かさあげ工事、宅地の開発、進まない補償交渉、その間にどんどん資材が値上がり、と問題が山積みで、これは大変だと思いました。おまけに賃貸の復興住宅に入るより、家賃のいらぬ仮設にとどまる高齢者も多いとのこと。役場の職員もたくさん亡くなっていて、復興という言葉の現場は4年目だからその困難を抱えていると思いました。



## 高浜小学校(宮古市)の児童が、演奏のお礼に合唱を聞かせてくれました

6月19日、20日と岩手県宮古市を弦楽四重奏で訪れました。宮古市は盛岡から車で2時間ほどの沿岸部に位置します。津波の被害も大きく、至る所に「津波ここまで」という防災の看板が立っていました。護岸工事が進められ、美しいリアス式の海岸線は高い防波堤と工事の柵で覆われてしまっていました。そんな海岸線沿いに、宮古市立高浜小学校があります。少し高台にあるこの学校は、校庭は水に浸かってしまったものの校舎は無事だったそうです。全校児童が55名という小さな学校ですが、校内ですれ違つと大きな声で挨拶してくれる礼儀正しい子供たちが待っていました。演奏のお礼にと全員合唱で「風になりたい」を披露してくれました。とても素直で元気な歌声に胸が熱くなるのを通り越して、こちらまで涙を必死でこらえてしまいました。最後には少しだけヴァイオリンの楽器体験も。バシッとかっこよくきめる6年生や校長先生にみなニコニコ。家族のように仲の良い素敵な学校でした。

午後は、少し沿岸部から離れて県立の宮古恵風支援学校へお邪魔しました。小学生から高校生までが同じ敷地で学んでいます。重度の障害を抱えながら仮設住宅から通っている生徒もいるそうです。変化が苦手とされる彼らにとっても大きな試練だったことは想像に難くありません。会場には手作りの飾りを用意して歓迎してくれました。飛び上がったり思わず大きな声が出てしまったり、全身で音楽を感じて喜んでくれているのだと、とても微笑ましいひと時になりました。演奏後も控室まで握手をしに来てくれました。子供たちがイキイキしている様子に先生方も喜んでくださいました。音楽の力を改めて感じる事が出来ました。

コンサート終了後は、被害の大きかった田老地区、その田老地区の方々が暮らす仮設住宅を視察しました。流されて何もなくなつてしまった一帯にポツンと残る建物。その大きさは津波の恐ろしさをまざまざと感じさせるものでした。この仮設は以前金管五重奏で訪れていますが、その時からまだ何も変わらない生活を余儀なくされている状況にも胸が痛みました。海岸近くの高台には公営住宅の建設が少しずつ進んでいるようですが、人手不足に物資不足が大きく影響しているということでした。



## クリニックで合奏の楽しさを再発見、高齢者向けサロンでは熱烈な歓迎



翌6月20日の午前中は、公民館にてクリニックが行われました。地元の愛好家たちの合奏、そして子供たちのグループに指導をしました。的確なアドバイスに音色がみるみる変わっていきます。普段はいいないチェロに支えられることで、ヴァイオリン・ヴィオラからもハーモニーが感じられるようになりました。音楽的には決して恵まれているとは言えない環境で、たくさんの方が楽器演奏を楽しんでいらっしゃいました。また、ただ演奏会に来て頂くだけでなく、一緒に演奏するという機会は言葉の交流を超えて心が繋がるような体験になりました。

最後の訪問地は、施設長が大の音楽好きという「かがやき」デイサロン。50名ほどの利用者さんと近所の方、そして前日の支援学校の生徒さんや午前中にクリニックを受けた小学生3人組も来てくれました。「日本フィルさんはスターですから!」と熱烈に歓迎してくださいました。

サウンド・オブ・ミュージックは、青春の思い出のようにきらきらした顔で聴き入り、また「北国の春」ではやはり大合唱に。あまちゃんのテーマにもとても喜んでくださいました。演奏後には手作りのメダルとプレゼントを頂いてしまいました。97歳になるおばちゃんは「生の演奏は生まれて初めて聴いたの、また絶対来てね」と温かい手で包んでくださいました。ここはまだ開通していない山田線の線路のすぐそばでした。穏やかな日常が早く元通りになることを願います。

今回の訪問は、株式会社三菱UFJニコスがサポートしてくださいました。



### 日本フィル「被災地に音楽を」訪問コンサート実施一覧

#### 【2011年】

- 4月6日 二本松市東和文化センター
- 5月4日 会津若松市文化センター
- 6日 埼玉県加須市騎西小学校 (福島県双葉町児童対象)
- 8日 宮城県名取市増田西小 同市関上地区日和山 同市文化会館
- 9日 気仙沼市階上中学校 同市松岩公民館 同市面瀬中学校
- 10日 石巻市石巻高校 同市湊小学校 同市門脇中学校 同市石巻中学校 同市北上子育てセンター
- 12日 埼玉県加須市騎西中学校 (福島県双葉町生徒対象)
- 6月4日 花巻市山の神温泉「幸迎館」
- 5日 釜石市甲子中学校 大船渡市リアスホール 福島県三春町田園生活館
- 6日 福島県三春町堂体育館 同町三春小学校避難所
- 25日 二本松市 JICA 二本松研修センター 同市あだたら体育館 南相馬市鹿島保険センター
- 26日 福島県大玉村 フォレストパークあだたら 南相馬市原町第二中学校 道の駅南相馬 原町第一小学校体育館
- 7月10日 宮城県南三陸町志津川高校 ホテル観洋
- 11日 同町志津川中学校
- 8月6日 気仙沼市日本ハブテスト教会 同市小泉中学校/階上小学校
- 10月4日 東松島市立鳴瀬第一中学校 石巻市北上中学校
- 5日 石巻専修大学 石巻市「あとろえDaDa」 同市追分温泉旅館
- 6日 仙台市「泉白陵会」
- 7日 同市「愛泉会」
- 10月20日 いわき市江名中学校 同市下神白第一集会所
- 21日 同市内郷第二中学校
- 26日 大洗町南中学校 第一中学校

- 11月21日 陸前高田市第一中学校
- 22日 花巻市山の神温泉[幸迎館]
- 24日 福島市松川町 みず和の郷 飯野学習センター
- 25日 同市松陵中学校 南体育館研修室

#### 【2012年】

- 1月20日 久慈市山村文化交流センター 県立久慈病院
- 21日 久慈市文化会館
- 22日 同上
- 3月27日 南相馬市原町第一中学校
- 28日 伊達市柳袋中学校
- 29日 南相馬市鹿島中学校
- 30日 同市原町第二中学校
- 3月28日 福島県三春町 三春小学校 埼玉県加須市騎西コミュニティC
- 5月20日 南三陸町志津川中学校 同町ホテル観洋ロビー
- 21日 同町南方仮設住宅集会所
- 6月17日 米沢市八幡原体育館 同市体育館ほか クリニック
- 8月7日 石巻市北上中学校
- 8日 同校体育館(岡崎市立城北中) 同市「あとろえDaDa」
- 9日 同市「こ〜ぶのお家 いしのまき」
- 9月19日 福島市立平野中学校 福島市商工会 福島音楽堂
- 20日 福島市松川工業団地 第一・第二仮設住宅集会所
- 21日 福島市立飯野中学校
- 30日 東京都江東区カトリック潮見教会
- 10月24日 南相馬市立鹿島小学校 農家民宿いちばん星
- 25日 南相馬市民文化会館 ウェルカムコンサート
- 26日 南相馬市立三春小学校 いわき市立江名中学校
- 27日 いわき市立内郷第二中学校
- 12月14日 茨城県立立明光中学校 梅香中学校
- 15日 双葉高校、双葉翔陽高校、富岡高校サテライト校 小名浜市民会館

#### 【2013年】

- 3月3日 石巻市役所
- 4日 「こ〜ぶのお家 いしのまき」 同市女川野球場仮設住宅
- 5日 同市みなと荘
- 21日 南三陸町志津川中学校
- 22日 同町南方仮設住宅集会所
- 4月3日 南相馬市原町第二中学校
- 4日 同市鹿島中学校
- 5日 同市石神中学校
- 6日 同市原町第一中学校
- 6月16日 岩手県 大船渡市宮田仮設住宅
- 17日 同市気仙光陵支援学校 同市上平応急仮設住宅
- 18日 同市御喜来小学校
- 23日 宮城県石巻市総合体育館
- 10月22日 福島県 南相馬市原町第一中学校
- 23日 同市高平小学校
- 24日 同市原町第三小学校 同市金房、福浦、鳩原小学校
- 25日 同市原町第二小学校
- 11月15日 岩手県 陸前高田市「朝日のあたる家」
- 16日 陸前高田第一中学校・高田東中学校
- 17日 陸前高田高校
- 29日 岩手県久慈市立宇部小学校 久慈市立久慈中学校
- 30日 久慈市立長内中学校 夏井中学校 アンバーホール
- 12月1日 洋野町種市中学校 大野中学校/種市中学校
- 12月9日 東京都江東区潮見教会
- 【2014年】
- 1月14日 福島県 三春町三春交流館「まほら」 南相馬市原町第三中学校
- 4日 同市石神中学校
- 5日 同市原町第一中学校
- 4月28日 宮城県登米町 南方第2仮設住宅集会所
- 29日 女川野球場仮設住宅集会所 同市「こ〜ぶのお家 いしのまき」
- 30日 NPO気仙沼ネットワークオレンジ

- 6月17日 岩手県大船渡市立第一中学校
- 18日 大船渡東高校
- 19日 同市三陸町「さんりくの園」 同市大船渡リアスホール
- 20日 同市宮田仮設住宅集会所 大船渡高校クリニック
- 7月14日 釜石市唐丹中学校 小佐野公民館
- 7月15日 旧釜石商業高校体育館/釜石教会
- 7月16日 鶴住居東中学校/栗林小学校
- 11月2日 名取市文化会館小ホール
- 3日 福島テルサ
- 4日 東松島コミュニティーセンター
- 8日 杉並公会堂(狹窪音楽祭)
- 11月28日 宮古市第一中学校
- 29日 同市港南中学校/千徳小学校
- 30日 同市宮古小学校
- 12月1日 田老町サポートセンター
- 9日 釜石市東中学校
- 10日 同市養護学校
- 15日 福島県伊達市保原小学校 同市保原町商工会
- 20日 江東区カトリック潮見教会
- 23日 南相馬市「ゆめはっと」

#### 【2015年】

- 5月1日 南相馬市原ノ町第二小学校
- 2日 南相馬市原ノ町一中学校
- 3日 同上
- 29日 岩手県立山田高校
- 30日 山田町立北小学校 介護事業所「恵みの里眺望」
- 31日 同町「いきがいデイサロン」 「いっほいっほ岩手」
- 6月19日 宮古市立高浜小学校 宮古恵風支援学校
- 20日 同市山口公民館 同市「かがやきデイサロン」